

会議名 (審議会等名)	平成23年度 第2回 川西市健康づくり推進協議会		
事務局 (担当課)	健康福祉部健康づくり室 内線(4530)		
開催日時	平成24年3月29日(木)午後1時30分~午後3時30分		
開催場所	川西市保健センター2階 健康教育室		
出席者	委員 (敬称略)	竹本 博行 藤末 洋 前田 祐一 藤木 薫 今西 要 中村 多岐美 森本 猛史 福西 勝 大崎 淳正 日下 厚子 中江 眞理 野中 眞実 水田 賢一 益満 良一 (欠席者) 中川 泰彰 三宅 圭一 井上 克己 橋本 敏明 和島 一吉 根津 倫哉	
	その他		
	事務局	健康福祉部健康づくり室 藪野室長・山中参事・田中主幹・池田主幹 柳川副主幹・米田主任・北田主任保健師・杉山主事・中村主事	
傍聴の可否	可	傍聴者数	なし
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	別添「審議経過」のとおり		
会議結果	別添「審議経過」のとおり		

# 審 議 経 過

## 第2回 川西市健康づくり推進協議会 審議経過（要旨）

平成24年3月29日

午後1時30分～3時30分

川西市保健センター2階

健康教育室

出席者：20名（欠席者：6名）

### [ 会議次第 ]

#### 1 開会

委員の変更について  
新たな委員の自己紹介  
会長の選出

#### 2 報告事項

アンケート調査の結果報告について

#### 3 その他

#### 4 閉会

事務局	<p><b>議事</b></p> <p><b>【 1 . 開会】</b></p> <p>年度末、何かとご多忙のところ、協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。最初に、本日の委員の出席状況ですが、中川副会長さん、三宅委員さん、井上委員さん、和島委員さん、橋本委員さん、根津委員さんから、それぞれ所用のため欠席のご連絡をいただいています。半数以上の委員にご出席いただいていますので、本日の会議が成立していることを報告いたします。</p> <p>また、本日の会議も公開となっておりますのでよろしくお願いいたします。それでは、初めに、前回の本推進協議会開催後、川西市議会及び川西市医師会の役員改選等に伴い、委員の変更がございましたので、ご報告いたします。</p> <p>お手元にお配りしています、資料1の委員名簿をご覧ください。</p> <p>医療関係団体の代表者の区分がございまして、川西医師会様におきましては、三木委員さんと鄭委員さんから竹本博行委員さんと前田祐一委員さんに変更されてございます。</p> <p>市議会議員の区分におきましては、松田委員さんから大崎淳正委員さんに変更されてございます。それでは、新たな委員でございまして、3名の委員さんから一言ずつ、自己紹介をお願いしたいと思います。名簿順で竹本委員さんから順番によろしく願います。</p> <p><b>(新委員の自己紹介)</b></p> <p>ありがとうございました。任期は、前任者の残任期間で、平成25年9月29日までとなります。今後とも、本推進協議会の委員として、各々の専門的なお立場から、ご意見を賜りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>ただ今、ご報告しましたように、本推進協議会の会長でありました三木委員さんが退任されたことから、本日の会議は、本来ですと、中川副会長さんが議長として進行することとなっておりますが、本日、所用により欠席をされていますので、中川副会長さんと事前に調整させていただき、事務局が次の会長の選任まで議事を進行させていただきたく思っていますので、ご了解いただきたいと思います。従いまして、本推進協議会の会長の選出に移ります。川西市健康づくり推進協議会規則では、会長は、委員の互選によって定められています。会長の選出にあたり、いかがいたしましょうか。</p> <p>事務局からというご意見をいただきました。もしよろしければ、事務局から提案させていただくことで、委員の皆様よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、本推進協議会の会長には、これまでの慣例によりまして、川西市医師会から会長の竹本委員さんをご提案申しあげたいと思いますが、皆様、いかがでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。ただ今、委員の皆様から、ご承認いただきましたので、会長には竹本委員さんにご就任いただくことに決まりました。それでは、竹本会長さん、会長の席にお移りいただくようお願いいたします。</p> <p>なお、会長の職務ですが、協議会規則の規定により、会長は、会務を総理し、推進協議会を代表していただきます。そして、本推進協議会を召集するとともに、会議の議長を務めていただくこととなります。それでは、竹本会長さん、会長就任にあたり、一言ご挨拶をお願いします。</p>
会長	<p>皆様からご承認をいただき、会長を務めさせていただきます。この会議は、昨年11月から、川西市の事業として、地域ネットを推進するための協議です。その会議の会長なので、身が引き締まる思いでございます。微力ながら務めさせていただきます。是非とも皆様方のご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。会長が選出されましたので、ここからの議事進行については、竹本会長さんが議長として進めていただくこととなります。それでは、会長、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、議長を務めさせていただきます。議事を始めます。事務局より、お手元にアンケート調査の結果報告書がございまして、説明をお願いします。</p>
事務局	<p><b>《資料に基づき説明》</b></p>
会長	<p>説明が途中でありますが、いろいろな部分で、ご意見があるのではないかと思います。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>集計の仕方でも分母が違うということですが、どこかである程度、区切りが必要だと思います。その辺りの考え方は、どうされていますか。</p>

事務局	<p>資料3と資料4で説明いたします。資料3は、先ほど分母が違うことを説明するために作ったものです。資料4は、国が行っている調査に対して、川西市が実際にアンケートとして集計できたものを紹介しています。ここについては、委員から指摘がありました、国との統計調査は、今後、この方法をとれば、国との比較が出来ます。例えば、40歳の歯の健康のところですが、前回までは、何歳代ですかと聞いていたのを今回からは、何歳ですかと聞いています。国の統計で40歳という言葉の定義を35歳から44歳の方々の平均をとっているのです、本市でも同じ内容の抽出が可能になりました。従って、国の調査結果と市の結果を同じレベルで作っています。ご指摘の部分につきましては、何歳代と出してしまうと国と比較できないことがございましたので、前回の部分が指標として取りきれず、今回の調査のみとなります。国が出している指標に対して、同じように取れたところを一覧にし、前回の調査までは、前回との推移でしたが、全国的な比較を出せないことから、この資料4の内容を報告書末尾に参考資料として載せたいと思っています。今回の調査から、国と比較できる数値を常に持ちながらいきたいと考えています。</p>
会長	<p>歯科的な部分でご指摘はございませんか。22ページの特定検診の受診率やはいかがですか。説明にはありませんでしたが、特定検診を強制的だと思われませんかという割合が、思うが、68%で、思わないが28%でした。これぐらいでしょうか。</p>
委員	<p>9ページのがん検診についてですが、胃がん検診と子宮がん検診が全国に比べて低いのです。胃がん検診は、胃のレントゲンを撮ることですか。</p>
事務局 委員	<p>本人が検診と思われたものすべてです。 子宮がん検診の受診率を上げる必要があると思います。胃がん検診については、バリウムで検診をするということが、全国的に問題になっています。ピロリ菌に感染しているかしていないかが、胃がんのリスクに関係していると言われつつあります。私は、個人的に、消化器専門なので、これについては、いろいろ意見がございますが、流れとしてバリウム検査を受けたいというだけではなく、皆さんにも知っていただきたいと思います。あと、1年間に転んだことはありますかという質問ですが、趣旨を考えたほうがいいと思います。例えば、日常生活の中で転んだことがありますか、転びやすいですかなど、もう少しいい質問を考えていただきたいです。</p>
事務局	<p>今の委員からの指摘ですが、資料4の2ページをご覧ください。がん検診の受診率についてです。上から2番目の糖尿病、循環器、がんということで、国が指標を公表しています。それと全く同じものです。市の検診だけでなく、会社での検診等も加算して、統計調査をして出た結果です。これは、過去からの推移を報告書に書いていたものと国と相対評価できることも必要だという判断から、今回、このようなことも目標としています。</p>
委員	<p>もう一つは、アンケートに答える人は、年齢別で人数は定められているのですか。高齢者の回答率が高く、若い人の回答率が低いです。かなりの差があります。</p>
事務局	<p>例えば、14ページ問2の回答で、Nイコール1255になります。20歳代の5.2%です。人口では、20歳代の方は、11.3%います。郵送は、11.3%の比率で出していますが、回答率が低いです。50歳代までは、実際に回答率は、人口に比べ低いです。60歳代では、24.5%ですが、人口比では、19.3%ぐらいで、回答率が非常に高いです。70歳以上は、22.2%の人口比で、今回のアンケートの回答率は、31%ですので、傾向として、高年齢の方が高い回答率となっています。</p>
委員	<p>実際の年齢構成に従った割合での、結果にしたほうがいいのかなと思います。年齢別に分析する分は、年齢構成に偏りがあってもいいと思いますが、全体の割合を出すときには、偏った割合では、いろいろ影響が出てくる気がします。無作為抽出するとき、若い人の抽出率を上げるなどして、年齢構成に合わせたような抽出をするべきなのは、統計の専門科に聞かないとわかりませんが、トータルでの年代を合わせた傾向を見るときのためにも、検討が必要ではないでしょうか。</p>
事務局	<p>実際の人口になるような補正がかけられるかも含め、全体傾向を見るところについては、検討をさせていただきます。 先ほど、喫煙率のお話もありましたが、資料4、1ページの煙草のところを見ていただくとわかりますが、全国の喫煙している男性の割合が、38.2の統計で、21と出ています。女性については、10.9に対して5.2ということで、低いと感じています。これは、平成21年度の調査です。</p>

委員	<p>回答率が4割強ですが、高齢者には、認知症の人もいるので、回答されていない人の方が多いです。認知症の人に、どうやって回答していただくかを考える必要があるのではないのでしょうか。転倒についてですが、この質問は、私が入れるようにお願いしました。曖昧な表現ですが、この質問で、70歳以上では、男性より女性の方が転倒することが多いことが分かりました。このことから、転倒リスクの対策を考える必要があるのではないかと思います。質問が曖昧だったので、20歳から60歳の結果に、ばらつきがありました。委員からご指摘があったように、次はもう少しアンケートの内容を考えていただければいいのではないかと思います。少なくとも70歳以上では、男性より女性の方が転倒することが多いという結果については、重要な成果が得られたと思います。これについては、健康事業を考えるときにも重要になると思います。次に、がん検診についてですが、大腸がん検診と書いてありますが、大腸がん検診は、便で潜血反応が出ているかを見るだけの検査です。その検査で陽性反応が出た人は、精密検査を受けてもらわないといけません。検診だけでは意味がないことをご理解いただきたいと思います。この件については、市民病院をはじめ、所轄センターが出来ています。連携を取りながら、検診で陽性だった人が、精密検査を受けられているかどうか管理していきたいと思っています。今後、委員会でも、どのようにしていくか、協議していきたいと思っているので、よろしくお願いします。</p>
会長	<p>38ページの食育推進計画の認知度が低いことで、日下委員さん、何かコメントはございませんか。</p>
委員	<p>私も驚いています。もう少し認知されていると思っていました。若いお母さんは、わりと認知されていると思います。高齢者には、まだまだと感じます。若いお母さんは、親子教室などに参加されている人が多いので、認知度も高いのだと思います。</p>
事務局	<p>《資料に基づき説明》</p>
委員	<p>私は、子育て広場を開かせていただいています。その時に、休日診療についてのプリントをお配りしています。それによっても、認知していただけていると思いました。</p>
委員	<p>転倒のところが、面白いなと見ていました。</p>
会長	<p>議員の方、何かございませんか。</p>
委員	<p>90ページの9番、食べ物について、いろいろな意見がありますが、これは、1人の意見なのか、それとも何名かの意見をまとめたものですか。</p>
事務局	<p>自由記載については、書かれたご意見をそのまま載せています。別々の人の意見です。成人の部分の自由記載についてですが、現在、別で集計中でございます。量が多いことから、チェックが出来ていません。最終、報告書に記載したいと考えています。</p>
委員	<p>この点について、住民の意見が多い現状がございます。例えば、学校給食の放射線の測定をしてほしいなど、川西市の現状と将来についての考え方をお聞かせください。</p>
委員	<p>基本的には安全です。我々の学校給食で流通しているものは、安全だという認識でやっています。あえて放射線量の測定はしていません。食材の産地はすべて、チェックしています。今は、そういった方針です。しかし、今後考え方が変わって、測定することになるかもしれません。</p>
委員	<p>放射線について、一般の人に、まだまだ認識が十分にされていないのが現状です。5月12日に県で、放射能についての勉強会も開かれます。是非参加していただきたいと思います。その辺りのことを理解していただくことも、我々の仕事だと思っています。</p>
委員	<p>問37のたばこについてですが、この資料では、34.2%が吸われています。私は、今までもこれからも煙草は吸いません。吸っている人の理由として、ストレス解消が言われています。県で、受動喫煙防止条例が、平成25年度から施行されます。平成25年度には、公共施設などで、徐々に吸う場所を減らし、平成26年度からは、それを民間でも広げていくようです。吸う場所には、ベランダや庭が多いようです。自宅で規制することはできません。朝、出かけてから帰るまでの間で、市としては、まだ少し先になりますが、現在どのようにお考えですか。</p>
委員	<p>庁舎の中には、一応喫煙場所は、今までのところ設けています。今回、県の条例では、そのような場所も作らないことになるようです。1年間、じっくりと検討しようと思っています。吸われる方に、一概にやめるように言うのも言いにくい部分がございます。県の条例が出来たことは、確かです。我々は、あくまで市役所という立場で、職場も含めて、考えていけないといけないと思っていますが、今のところはまだ、具体的には、決まっていません。</p>
会長	<p>委員は、条例として、路上喫煙のことを言われているのですね。</p>

委員	昔は、本当にポイ捨てが多かったですが、今では、少なくなりました。それは、たばこを吸う人が減ったのか、それとも誰かがチェックされているのかもかもしれません。条例ができる、またポイ捨てが増えないでしょうか。
委員	3年前、能勢口の駅前が目立っていました。条例で規制しようと検討しました。罰金を取ることも考えました。芦屋では、禁煙場所としながらも、ポイントで喫煙できる場所を設けているようです。それが意味あるのかどうかも検討しました。条例ではなく、歩き煙草はやめませんか、市が要項という形で作ることにしました。条例で規制をしなくても、優秀な川西市の市民の方は、いけないことを認識してくれるだろうと考えて作りしました。一度、その要項をご覧になっていただきたいと思います。その中には、市が期待していることが載せてあります。それが不十分であると判断されれば、もう少し強い形で、規制することになるかもしれません。
委員	親子の健康づくりに関するアンケートですが、よく虐待について触れられています。虐待に対して、たばこや子育てなど他のアンケート結果との相関性はされていますか。
事務局	その辺りについては、今後の課題であります。現在、我々の作業は、事業者と協力してやっております。この部分を分析してもらえないかという意見がありましたら、可能な限り出来るようにと捉えています。詳細について、条件に合う部分があるかどうか、そのようなことの抽出は、今後検討していきたいと思います。数値が相関できるような形にはなっています。
委員	乳がん検診で、無料クーポンをいただきました。そのクーポン券によって検診率は上がったのですか。
事務局	乳がん検診ですが、発行前は、10%ぐらいの検診率でしたが、クーポンを発行したことで、平均20%ぐらいまで上がっています。全体では、まだまだ低めの状況です。川西市は、マンモグラフィを持っている医療機関が、保健センターと市民病院、ペリタス病院の3か所しかありません。その辺りで、まだまだ受診機会が確保できないこともあるのかもかもしれません。4月以降、市民病院では、クーポン券だけでなく、40歳以上すべてを対象に拡大するつもりなので、もう少し検診率が上がるのではないかと期待しています。
委員	国の指標から、受診率や死亡率など、川西市の評価を見えています。猪名川町は、以前、高齢化率が県下で5番以内でした。健康だから受診されていない人もいます。私が言いたいことは、胃がんの保険料や乳がんの医療費が、他市に比べて、高いのか低いのかを出していただきたいです。果たして、本当に川西市の乳がんの受診率が低いのか、胃がん検診が、本当にワーストなのか、その辺りの検証が必要だと思います。国から言われたことをただ鵜呑みにして、低いから、無料クーポンで受診率を上げようとするだけでいいのでしょうか。上げて、精密検査を受けていただかなければ意味がありません。市から県に意見が言えるようなしっかりとした根拠を出していただきたいです。無料クーポンを配ることもいいと思いますが、それで本当に上がるのでしょうか。国に言えるようなしっかりとしたデータを出していただきたいです。
会長 委員	ありがとうございました。だいたい意見が出たかと思いますが、いかがでしょうか。43ページのこころの健康づくりですが、最近、心の病気の人が多いので関連しているかと思っていました。しかし、心の病気について触れられていません。心の病気と健康との関連はどうなのでしょう。もう少し、心の病気について取り上げたらどうでしょうか。
委員	病名が付けられる場合とそうでない場合があり、ボーダーラインの方が非常に多いと思います。その辺りをどのように評価するかだと思います。よろしいでしょうか。その他について、お願いします。
事務局	本日は、大変ご熱心に協議いただきまして、誠にありがとうございます。ご協議いただきました、アンケート結果報告書につきましては、今後内容の精査を重ね、必要に応じまして、会長、副会長とも調整させていただいたうえで完成させ、予定では、5月には、関係機関等に配布したいと考えています。本日以降に、お気づきの点がございましたら、お手元にお配りしています、意見シートを参考に、FAXやメール等で事務局までお寄せいただければと思います。推進協議会の次の開催時期ですが、今回の市民アンケートの調査結果を踏まえながら、平成24年度の策定いたします、現行の保健医療計画の全面改定に係る、骨子案につきましてはのご協議を予定しており、早ければ、5月下旬ごろ考えています。開催日時については、会長さんと調整させていただき、ご案内いたします。なお、お手元に若草色のパンフレット、川西市健康づくり事業のご案内をお配りしています。これは、シルバー人材センターから全家庭に配布されていると思います。委員の皆様方も後程、ご清覧いただければと思います。事務局からは、以上です。